施策体系コード

3-1-3

事業名 介護予防事業の充実

保健福祉局保健福祉部介護保険課 長嶺、染谷 № 211-2547 担当

保健福祉局障がい福祉担当部身体障害者更生相談所 盛 1至641-8852

画 全 体 計

高齢者が要介護状態へ移行するのを防ぐために、介護予防セ ンターが実施する「すこやか倶楽部(閉じこもり予防教室)」、「転 倒・骨折予防教室 などの各種介護予防教室を一層推進する。

※すこやか倶楽部:市内53カ所の介護予防センターが地域福祉 活動と連携・協力し閉じこもり予防等の介護予防事業を実施し、高齢者を地域で支えるケアネットワークを推進する

※介護予防教室:栄養改善、口腔機能向上教室等により、心身 機能の維持・改善を図る

※転倒・骨折予防教室:転倒予防ストレッチや転倒予防筋力ト レーニングを実施し、心身機能の維持・改善を図る

容

業

<年 度 別 の 事 業 内 容>

○平成19年度~22年度

- ・一般高齢者に対する「すこやか倶楽部」や「転倒・骨折予防教 室」等の各種介護予防事業
- ・特定高齢者に対する運動能力向上トレーニング事業や筋力向 上トレーニング事業

※筋力向上トレーニング事業:生活機能の維持・改善のために、 運動器の機能向上が必要とされた高齢者に対し市内3カ所の健 康づくりセンターにおいて、理学療法士や健康運動指導士の指 導のもと、マシンを使用した筋力トレーニングを実施

※運動機能向上トレーニング事業:自立支援や介護予防を目的 に、心身の維持・改善・向上を図るために、市内10カ所の老人福 祉センターにおいて、看護師・理学療法士の指導のもと、運動や 体操を実施

平成 19 年度事業内容(決算)

- 53カ所、338,650千円 ・介護予防センター運営事業: 事
 - ・筋力向上トレーニング事業: 3カ所、13,860千円 ・運動能力向上トレーニング事業:10カ所、23,358千円

業

内

容

量

場

所

規

模

◎一般高齢者対象

介	内訳	実施回数	参加人員(延べ)
護	すこやか倶楽部	1,880	31,052
予	介護予防教室	299	5,183
防	転倒予防教室	528	8,090
	計	2,707	44,325

◎特定高齢者対象

	実施回数	参加人員(延べ)
筋力向上トレーニング	373	1,460
運動機能向上トレーニング	819	3,536
計	1,192	4,996

平成20年度事業内容 (決算)

- ・介護予防センター運営事業: 53カ所、341,450千円
- ・筋力向上トレーニング事業: 3カ所、13,860千円
- ・運動能力向上トレーニング事業:10カ所、23,265千円

◎一般高齢者対象

介	内訳	実施回数	参加人員(延べ)
護	すこやか倶楽部	1,848	31,722
予	介護予防教室	356	7,058
防	転倒予防教室	699	10,361
	計	2,903	49,141

◎特定高齢者対象

	実施回数	参加人員(延べ)
筋力向上トレーニング	402	1,222
運動機能向上トレーニング	764	3,363
計	1,166	4,585

平成21年度事業内容(決算)

- ・介護予防センター運営事業: 53カ所、342,850千円 ・筋力向上トレーニング事業: 3カ所、13,860千円
- ・運動能力向上トレーニング事業:10カ所、23,207千円

◎一般高齢者対象

介	内訳	実施回数	参加人員(延べ)
護	すこやか倶楽部	1,896	34,163
予	介護予防教室	361	5,925
防	転倒予防教室	694	10,877
	計	2,951	50,965

◎特定高齢者対象

	実施回数	参加人員(延べ)
筋力向上トレーニング	640	1,447
運動機能向上トレーニング	805	4,108
計	1,445	5,555

件 数

筡

平成22年度事業内容(予算)

- ・介護予防センター運営事業: 53カ所、343,200千円
- ・筋力向上トレーニング事業: 3カ所、13,860千円 運動能力向上トレーニング事業:10カ所、23,424千円

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-1-3		THE	事業名	介護	隻予防事	業	の充実			
	達成目標の状況										
							22年度末 (目 標)				
一般高齢者の介護予防事業の開催回数			2,64	5回	2,707回]	2,903回	2,951回	2,950回	2,645回	
特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力 向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予 防事業への参加者数			1,702	2人※	13,086	(14,946人	16,432人	16,900人	2,400人※	
特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力 向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予 防事業の開催回数			895[回※	1,720回]	1,865回	2,139回	2,200回	1,137回※	

市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)

■市民との連携、市民参加

53カ所の介護予防センターの運営については、社会福祉法人等に委託して実施している。また、介護予防センターでは、地域に出向き 町内会や福祉のまち推進センター、民生委員等と連携して事業を実施している。

■企業等との連携・協働

[資金協力](該当なし)

[人材協力](該当なし)

「情報協力](該当なし)

[その他の協力](該当なし)

■市民・企業等が参加しやすい環境づくり

介護予防センターでは、地域に出向き地区会館等を利用して、町内会や老人クラブ等の団体と連携し各種事業を行っている。

評 価(成果) 題 課

介護予防センターでは、一般高齢者に対し「すこやか倶楽部」や 「転倒・骨折予防教室」等の各種介護予防事業を実施し、徐々に地 域に浸透してきている。また、特定高齢者に対する運動能力向上ト レーニング事業や筋力向上トレーニング事業についても、参加者が |対応した円滑な事業提供を図る必要がある。 増加してきている。

介護予防センターが実施する一般高齢者への介護予防事業を一 層推進するとともに、特定高齢者に対する運動能力向上トレーニン グ事業や筋力向上トレーニング事業については、参加者の増加に

後の事業の予定・方向

介護予防センターにおける一般高齢者への各種介護予防事業の一層の推進を図る。また、特定高齢者に対する運動能力向上トレーニ ング事業及び筋力向上トレーニング事業については、参加者増に対応した事業量の増加についても検討していく必要がある。

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード 3-1-3 事業名 介護予防事業の充実									
事業費の推移									
項 目 19年度 20年度 21年度 22年度 計									
計画	事業 費 財 国・道 支 出 金源 市 債 ク その他	_	_	_	_	0 0			
	内その他訳一般財源事業費	377,632	380,525	381,341	380,484	1,519,982			
予算	財国・道支出金源市債	183,200	142,696	143,001	142,681	611,578			
	内 そ の 他 訳 一 般 財 源	133,365 61,067	190,264 47,565	190,672 47,668	190,242	704,543 203,861			
	事 業 費 財 国 · 道 支 出 金	375,867 182,536	378,575 141,964	379,917 142,468	_	1,134,359 466,968			
実 績	源 市 債 そ の 他	0 132,483	0 189,289	0 189,959		0 511,731			
+-	訳 一般 財源	60,848	47,322	47,490		155,660			
事	業費の進捗率		実績+H21実績+		/(計画事業費)				
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等) 《全体》 ※達成目標の18年度末の数値及び22年度末の目標には、一般高齢者を対象とした転倒予防教室の実施回数及び参加人員は含まれていない [19年度]									
[20年度] [21年度]									
[22年度]									